

ひと ひと
女と男グッドパートナー
いきいき通信 VOL. 11

■編集

湖南省男女共同参画リポーター
青木信二、西村眞喜子、服部照代、
久田和美、森富裕子
湖南省工業会・石部政貴、野口周作
湖南省商工会・植西正也、山元克司

■連絡先

〒520-3288 湖南省中央一丁目1番地
湖南省人権擁護課
TEL (71) 2354
FAX (72) 2201
Eメール jinken@city.shiga-konan.lg.jp

ワークライフバランス実現に取り組む
西村建設株式会社取材しました！

湖南省商工会 植西 正也

西村建設株式会社

(所在地) 湖南省中央三丁目12番地

従業員数 90人(男性76人、女性14人)

業種 総合建設業・総合建設業の設計施工監督／一
級建築士事務所／宅地建物取引業／不動産賃
貸業／給排水設備工事に係る設計施工／全
各号に関連する事業

○「くるみん」取得のきっかけ

社員が安心して定年まで働ける環境づくりをめざし、厚生労働省が認定する子育てサポート企業「くるみん」の取得に取り組まれました。育児休暇の間も一定の手当が支給されるので、安心して休み、復帰することができます。

○制度が利用できる環境づくり

男性も育児休暇を取得されています。現場に出る職種の社員さんですが、日ごろから制度の周知やフォローできる職場づくりを進めていたので、同僚の理解も得やすく、休暇の取得もスムーズにできたそうです。家族の方にも喜んでもらえて、会社としてもうれしいと専務の西尾さんはおっしゃいました。

会社として業界の規制などもあり、難しい部分もあるそうですが、一つずつ問題をクリアして前進されているそうです。

○上司の理解と声かけ

子どもの就学前までの間勤務時間を短縮して働いている大西さんにもお話を聴きました。帰り際などの気苦労を尋ねると、「上司に声かけをしてもらえるので助かります。育休を取った先輩もいるので、周囲の理解もあります」とのお答えをいただきました。小さいお子さんを保育園に送迎をしながらも、しっかりと働き続けることができるのは素晴らしい事ですね。



○個人の能力に応じた登用

女性の管理職の方もおられ、男女関係なく個人の能力に応じた登用をしています。特にこの10年で、男女の昇進は大きく変わってきたそうです。

最初は女性に管理職になってもらおうとしても、責任の重さになかなか承諾がもらえませんでした。会社が全てバックアップするというので、ひとりの女性が就任。5年経過した現在も活躍されています。その他にも営業職や住宅設計の仕事でも女性が活躍しておられます。

○取材を終えて

取材を通じて経営陣・社員みんなが、それぞれの幸せを考え、お互いにフォローし合い助け合う風土がしっかりと根付いている企業であることをとても感じました。こんな企業が湖南省にもっと増えるといいですね。



Q リポーター活動をすることで、自分自身や周りの人の意識は変わりましたか？

久田：男女共同参画という言葉を身近に感じられるようになりました。幼稚園でも話題として上がりましたよ。

野口：私たちものづくりの業界の中でも、女性がどのように活躍されているのか気になるようになりましたね。

山元：忙しい中でも、従業員が家族と過ごせる時間を少しでも増やそうと意識が変わりました。集中して仕事をすることで、残業も減りました。

植西：家事を分担することは苦痛ではなかったのですが、周りでその様な事を聞かなかったのが、リポーター活動で、それが普通になってきている事を知り安心しました。



Q 女性の社会参画（仕事、ボランティア、地域活動など）についてどう考えますか？

山元：女性が家庭でされている育児や家事も立派な社会参画だと思っています。

青木：私もそう思います。しかし夫が休みのときは、夫婦で育児や家事を助け合う。夫婦は、相互理解と感謝の気持ちで成り立つと考えます。

久田：私自身は、福祉施設で働いていて、女性も多い職場だったので、産休・育休も充分にとれました。職種によって違いはあるのかもしれませんがね。

野口：ある溶接方法では日本一という女性もおられます。女性が活躍する世界ではないと思われる分野でも、今後は女性の活躍が期待されますね。

服部：ボランティア活動の参画は女性の方が積極的だと思います。逆に地域活動、例えば地域の役員等は男性が多く、男女共に参画を進めるのは（都市と地方のちがいもあるのかもしれませんが）そう簡単なものではないと考えます。

石部：性別に関係なく社会に出ていってほしいと思います。そのためには、女性が社会に出やすい仕組みが必要ですね。

西村：組織のリーダーはいろいろな人が参加できる方法を考えなければいけませんね。

Q 年代による考え方の違いを感じますか？

森：以前、女性は意見をあまり取り上げてもらえず下働きが中心でした。女性の方が細かく気づかっている、声には出さなかったですね。

服部：女性は少し控えて男性を立てるといふか…女性が一步下がって、という行動は“女らしく”という意味で健在です。“女が生意気な”という考え方は、若い人よりむしろ年長者の男女共に根強いものがあるようですね。

植西：それでも、最近では男女共同参画も、ある程度理解されてきたのではないのでしょうか。

野口：子どもの頃、家庭科の宿題をしていると「台所に男性が立つものではない」と父に言われました。現在では、家事ができる男性がモテたりと年代によって、価値観が大きく変わりましたね。

石部：幼稚園の入園式は両親で参加している人がほとんどです。昔は学校行事などに父親が参加する事は少なかったと聞きました。

久田：私は育休も充分に取りましたが、同時期に育休を取得した10歳上の先輩は取り辛かったのか出産後2ヶ月で復帰されていました。様々な制度も平等にとれるはずなのですが…

青木：現代ではいろいろな情報を簡単に収集できるようになりましたが、良いことも悪いこともその人の受け止め方で考えが変わります。私も「若いときこのようにしていたら今の人生変わっていたかも」と思うときがありますよ。



Q リポーターとして今後伝えていきたいことを教えてください

青木：受け止める側の考え方は益々多様化していくと考えられますが、私たちリポーターの役割として大切なのは、今までの活動を継続して、伝えていく事ではないでしょうか。

服部：先人の残してくれた良き慣習は活かし、現代に合った生き方を模索していくしかないでしょ

うか。それでも、その場その場でおかしいことはおかしいと言える事を伝えていきたいです。

森：女性社会、男性社会と区別せず、「できること」「わかること」の感覚を大事にしてほしいですね。

植西：男女のそれぞれの長所を生かして社会で活躍できることの素晴らしさが伝えられればよいと思います。

久田：家庭の中でも夫婦が共に考えていけるといいですね。

西村：女性には勇気を出して第一歩を踏み出しチャレンジすること、男性には女性が働きやすい職場を考え直すことを伝えたいです。それは女性のためだけでなく、男性のためにもなると思います。



私から見た男女共同参画

湖南省工業会 石部 政貴

男女共同参画リポーターに参加して3年目になります。最初は何も分からない状態でスタートしましたが、回を重ねるごとに少しずつ分かってきました。

普段の生活の中で、男女共同参画に関する記事を読んだり、ニュースを見たりするようになりました。年末には子どもといっしょにお風呂掃除をしましたが、子どもも私も楽しみながらできたうえに、妻も喜んでくれてよかったと思います。

男女平等（ジェンダー・ギャップ）指数も毎年確認しています。2015年の日本の順位は145か国中101位です。教育、健康と生存の数値は高いですが、経済活動の参加と機会、政治への関与の数値が低いです。すぐに結果は出ませんが、一人ひとりの取り組みによって男女平等に近づくはずで

す。いきいき講座には4回参加しました。男性の介護、男性の子育て、自分らしく輝くためのポイント、パートナーとモノと自分のいい関係、どれも貴重な話を聞かせてもらいました。

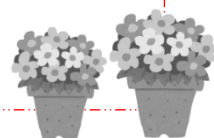
男女共同参画リポーターとして一人でも多くの方に、いきいき講座に参加してもらいたいと思っています。講座に参加した方がまた参加したいと思ってもらえるように取り組んでいきたいです。

3月	2月9日	12月8日	11月15日	10月27日	9月27日	8月25日	7月14日	6月16日
いきいき通信区配布	第5回会議	第4回会議	GINETしがフェスタ参加	事業所への取材	いきいき講座	第3回会議	第2回会議	第1回会議

平成27年度年間活動内容

男女共同参画リポーターについては、労働者の観点からの意見・提案も取り入れ、より実態に応じた取り組みを行うため、平成25年度から工業会・商工会にもご協力いただいています。

今年度も市から両会に会員の派遣を依頼し、4名の方を派遣いただきました。ご協力ありがとうございました。今後も働き方について、一緒に考えていきたいと思っています。



＊ ひとひと 女と男グッドパートナーいきいき講座 ＊

「パートナーと“モノ”と自分のいい関係 ～家も心もスッキリ整理収納法～」

講師 香田 雅子さん（整理収納アドバイザー）

日時 平成27年9月27日（日）午前9時30分～ 場所 サンライフ甲西

講座

今回の講座は、昨今ブームであります『整理収納法』でした。

最初『整理収納』がどうして男と女グッドパートナーに繋がるのだろうかと思いましたが、講座を受けてみて徐々に理解できました。簡単に内容をお伝えします。



①「整理のチカラ」は時間・お金・心・防災…将来を豊かに変えるスタート。 服部 照代

②自分の整理収納のタイプチェック…スッキリきちんとタイプ、捨てるのが苦手なタイプなど自分のくせを知る。

③「整理収納」でパートナーといい関係をつくるコツ…どんな暮らし方をしたいか、互いの価値観を尊重するなど。

その他、講話だけでなく、ワーク（書類等のラベリングで実技）を交えて、すぐ家に帰って取り掛かれ、無理なく実践できる方法を教えていただきました。

「整理収納には、身の回りをきれいにするだけでなく、人との関係をつくっていく力があり、ずっと続くと人生に大きな影響を与える。」という先生の言葉が印象的でした。

～受講者アンケートから～

受講されたご夫婦や親子、主婦の方等参加者のアンケートを紹介します。

整理することは相手の価値観・思い出の尊重・共感につながるわかりました。

ワークショップで具体的な整理の仕方がよくわかりました。

パートナーと一緒にするのは、自分たちの暮らし方を見直し、パートナーを深く知るチャンスだと気がきました。

お話を聞きながら「家でこんなふうにできたら…」と色々考えることができました。

＊あなたも男女共同参画リポーターになってみませんか？＊

男女共同参画リポーターの任期は2年。市内に在住か在勤されている20歳以上の人なら、どなたでも参加できます。これからのライフスタイルについて一緒に考え、発信していきましょう。

広報「こなん」4月号や市のホームページなどでお知らせします。ご応募お待ちしております！